

## 青森県立名久井農業高等学校

### TEAM FLORA PHOTONICS

#### 草花による室内空気浄化活動

植物は空気浄化をはじめ、花の色や香りでストレスを緩和する能力がある。私たちは、草花による空気浄化とストレス解消ボランティア活動に取り組み、今までは難しかった浄化力の高い屋外の草花を室内に持ち込むことに成功した。



## 秋田県立大曲農業高等学校

### 生物工学部

#### 酸性の湖、田沢湖の中性化 ～クニマスの未来をかけた取り組み～

酸性の田沢湖の水が電気分解によって中性になるまでの時間や効率を調べ、ほかの方法と比較し、最も効率の高い中性化方法を模索した。しかし中性にはならず、どの方法も一長一短があり、一つの方法に絞ることはできなかった。



## 宮城県農業高等学校

### 科学部復興プロジェクトチーム

#### 津波地域を甦らせる!～目指すはバラと食物連鎖を利用した環境修復型農業～

東日本大震災1年後、「復興プロジェクトチーム」を立ち上げ、「桜保存プロジェクト」を始動。環境修復型農業が必要だとしてさらなる研究を開始。浜に自生する植物を参考に、栽培に有効な植物の検索から始めた。



## 宮城県村田高等学校

### JRC部

#### 町の未来を考えた心温まる地域連携活動

毎週行う町のゴミ拾い活動、村田小学校と町特産白菜の種まき・苗植・収穫、村田第一中学校への出前講座と両校吹奏楽による特別養護老人ホームでのコンサート。熊本地震の際にはいち早く募金活動を行い熊本赤十字に送金した。



## 山形県立酒田光陵高等学校

### エネルギーで環境保全隊

#### 再生可能エネルギーを利用して、環境保全に全力でエネルギーを注ごう!

再生可能エネルギー装置を設置し利用することで、自然環境保護にどれだけ貢献できたかを数値化して検証した。結果、エネルギー消費が地球温暖化に与える影響を考察し、日常生活で地球温暖化対策にどう取り組むかを考えている。



## 福島県立平工業高等学校

### 生徒会 社会福祉や国際貢献を通じた環境活動の取り組みについて

～すべては喜んでくれる人たちの笑顔のために～

1. アルミ缶回収による特別養護老人ホームへの車椅子寄贈、2. 使用済プリペイドカード、インクカートリッジトナーカートリッジ回収による開発途上国支援、3. ペットボトルキャップ回収による開発途上国支援、4. アフリカ・マリ共和国への支援物資発送。



## 関東

15 団体



## 群馬県立伊勢崎興陽高等学校

### 植物バイオ研究部

#### 廃棄野菜の総合的な活用

放置竹林の竹をチップ化し、これをエリンギ栽培に用いた。慣行法のきのこ栽培方法で用いていた広葉樹材のオガクズと米ぬかなどの栄養体の双方が、未利用資源に置換され、環境負荷を伴わない、栽培技術の確立を実現させた。



## 群馬県立利根実業高等学校

### 生物資源部

#### 赤城山北西麓におけるイノシシの生態・行動調査と侵入防護柵の製作

環境への配慮を目的に、イノシシの生態・行動を利用した、移動が可能で、簡易的な仮設型侵入防護柵の研究に取り組む。また防護柵の製作にあたり、農業廃材を使用し費用0円を目指して活動を進めている。



## 群馬県立利根実業高等学校

### 生物資源部

#### 赤城山北西麓におけるニホンジカの生息・行動サイクル調査

シカの侵入防護柵による「被害管理」と間伐による「生息地管理」に成功。標高700mの森林地帯では、シカの季節ごとの個体数変化と行動サイクルについて科学的なデータを収集することができた。



## 群馬県立尾瀬高等学校

### 理科部

#### 尾瀬国立公園大清水湿原の復元に向けて

大清水湿原でミスバショウの生態やその移植方法などを調べ、湿原の復元に向けた活動を行っている。活動を通して、ミスバショウの移植は可能であるが、動物によるミスバショウへの被害(外的要因)を減らす工夫が肝心となることが分かった。今後、住民や地元関係者に聞き取り調査を行う。

## 千葉県立津田沼高等学校

### 鳥類班

#### ～谷津干潟のアオサと水鳥が共生できる未来を信じて～

谷津干潟自然観察センターや東京湾ぐるっとクラブの皆様と協力して谷津干潟をより良い環境にするために、アオサの駆除やアオサの利用法、水鳥がエサを食べやすくなるようにアオサをかき分けて潮の流れを作る作業などを行っている。

